週間漁海況情報－2018年第14号

平成30年4月10日

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

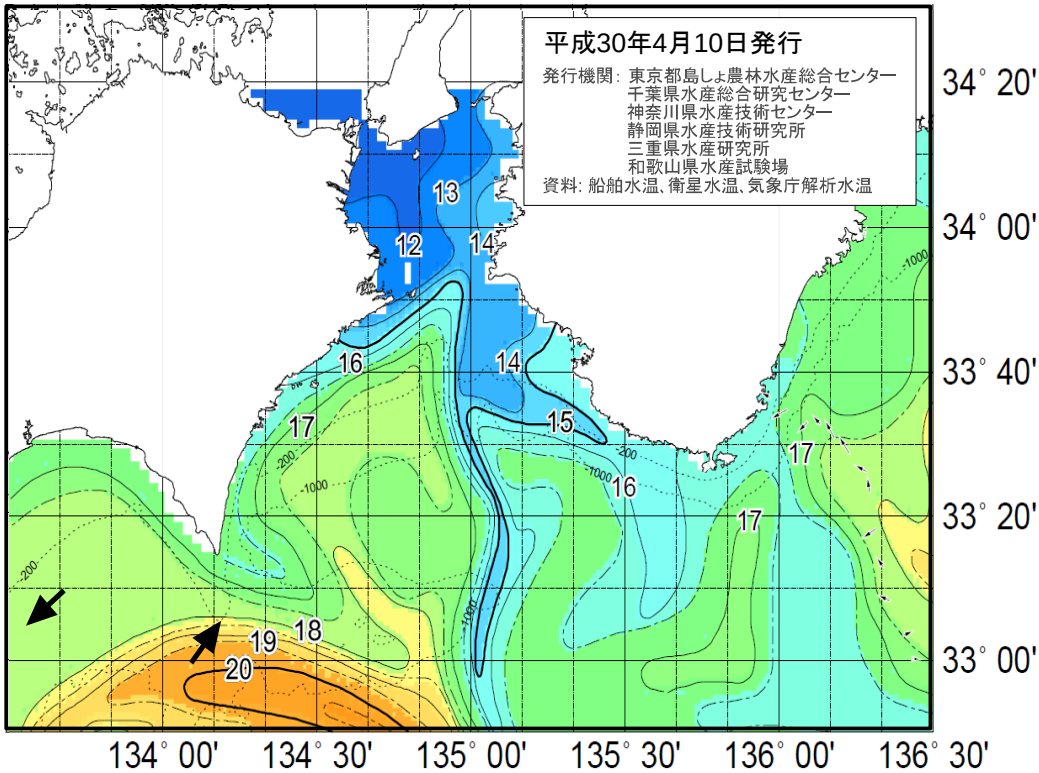
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」～「やや離岸」で推移している。潮岬沖では、5日頃まで「やや離岸」で推移していたが、その後南下して「離岸」となっている模様。

徳島沿岸の水温は、播磨灘で11℃台、紀伊水道で11℃～14℃台、海部沿岸で13℃～17℃台となっている。

黒潮の表面水温は、21℃～22℃となっている。



※黒潮の離接岸の表現　（いずれも正南方向）

室戸岬沖	接岸：～25NM	やや離岸：25～45NM	離岸45～65NM	著しく離岸：65NM～
潮岬沖	接岸：～26NM	やや離岸：25～56NM	離岸56～86NM	著しく離岸：86NM～

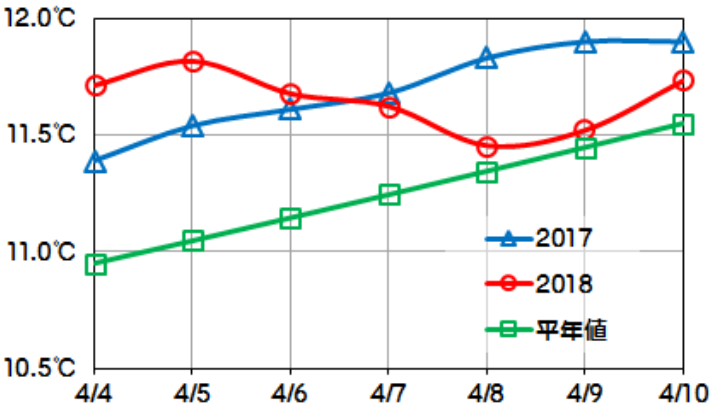
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温（4月4日～4月10日）

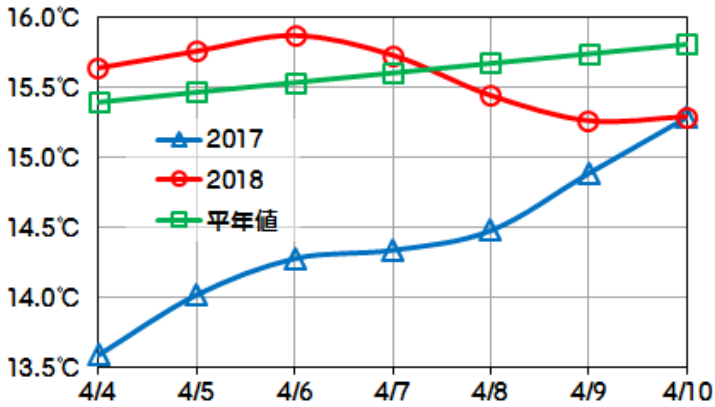
鳴門地区の地先水温は、「やや高め」のち「平年並み」の11.5℃～11.8℃で、5日から8日にかけて下がったが、その後は再び右肩上がりで推移した。

日和佐地区の地先水温は、期間始めは「平年並み」で緩やかに上昇したが、中頃から下降に転じ、10日には「やや低め」の15.3℃となっている。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低　平年並：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上

※ 平　年　値　1982年～2016 年の平滑平均値

3. 週間予報（4月11日～4月17日）

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」～「離岸」、潮岬沖では「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の11℃～12℃台、日和佐地区は、「平年並み」の15℃～16℃台で推移する見込み。

漁況　2018年4月2日～4月8日（旧暦2月17日～2月23日）

1. 紀伊水道（標本漁協数:3）

船びき網は出漁がなかった。

延縄では、タチウオが特大主体に2.4㌧、ハモが増えて0.6㌧水揚げされた。

小型定置網は漁獲量が増え、ボラ、すずき類がそれぞれ0.6㌧、クロダイ、マダイがそれぞれ0.5㌧水揚げされた。

底びき網では、コウイカが減って大主体に0.3㌧水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協数:4）

釣りでは、タチウオが減って0.5㌧水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて0.4㌧水揚げされた。

建網では、ブリが大きく減ってぶり級主体に0.2㌧水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが5.9㌧、ウルメイワシが0.9㌧、マイワシが0.3㌧など水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく減ったものの23.4㌧、イシダイが増えて大主体に1.7㌧、マアジが小小主体に1.5㌧水揚げされた。ブリは、前週はほとんどが大型のぶり級であったが、今週はぶり級とめじろ級が半々のところに小型のつばす級が混じるかたちになっている。

小型定置網、大型定置網では、いわし類、小型のマアジが多く水揚げされており、一部は未選別で取り扱われている。

漁獲量集計表（漁獲が0.2㌧以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数（のべ）	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	延縄	47	タチウオ	2,362	50	特大主体	↘↘
		10	ハモ	584	58		↗↗
		22	マサバ	240	11	大主体	↘↘
	小型定置網	9	ボラ	600	67	大主体	↗
		26	すずき類	566	22		↗
		27	マダイ	531	20		↗
		23	クロダイ	457	20		↗↗
		27	ウマヅラハギ	328	12	大主体	↗↗
	底びき網	16	コウイカ	279	17	大主体	↘
海部沿岸	釣り	14	タチウオ	458	33		↘
	延縄	12	サワラ	418	35		↗↗
	建網	7	ブリ	239	34	ぶり主体	↘↘
	小型定置網	19	カタクチイワシ	5,875	309		↗↗
		7	ウルメイワシ	936	134		↗↗
		5	マイワシ	251	50		↗↗
	大型定置網	7	ブリ	23,369	3,338		↘↘
			イシダイ	1,676	239	大主体	↗↗
			マアジ	1,498	214	小小主体	↘
			小魚類	629	90		→
			マダイ	340	49		↗
			サワラ	325	46	大主体	↘

※ 前週比　200%以上:↗↗　120-200%:↗　80-120%:→　50-80%:↘　50%未満:↘↘